

審査委員(予定)



David Atkinson
小西美術工藝社社長
石原 義郎
株式会社航空新聞社編集統括
太下 義之
同志社大学教授
久保田 稔
公益社団法人日本観光振興協会理事長

委員長 本保 芳明
国連世界観光機関
(UNWTO) 駐日事務所
代表

藏持 京治
日本政府観光局(JNTO)理事長代理
関口 和一
株式会社 MM 総研代表取締役所長
高橋 明
株式会社日本政策投資銀行地域調査部長

高橋 広行
一般社団法人日本旅行業協会会長
森下 晶美
東洋大学国際観光学部国際観光学科教授
涌井 雅之
東京都市大学特別教授
* 観光庁より1名就任予定
(敬称略・五十音順)

受賞のメリット

1. ツーリズム EXPO ジャパン会場内で「ジャパン・ツーリズム・アワード受賞」の告知を行うため、外部からの評価向上、および新たなビジネスパートナーの発掘につながります
2. 受賞後、3年間は受賞のロゴを利用できるため、外部に向けてのPRが出来ます
3. 主催三団体からあらゆる機会を通じて広報されるので、受賞団体・組織内でモチベーションの向上につながります
4. ツーリズム EXPO ジャパンホームページで受賞取組の紹介をします

ジャパン・ツーリズム・アワード大賞・国土交通大臣賞一覧（第5回から国土交通大臣賞）

第1回 (2015年)

瀬戸内国際芸術祭実行委員会
瀬戸内国際芸術祭の
開催による
地域再生の取組



第2回 (2016年)

飛騨高山国際誘客協議会
官民協働での
外国人観光客の
誘致・受入



第3回 (2017年)

三陸ホテル観洋
「震災を風化させない
ための語り部バス」
による地域交流活性化の
取組



第4回 (2018年)

一般社団法人雪国観光圏
地域連携 DMO による
新たなブランドづくり
「真白き世界に
隠された知恵に出会う」



第5回 (2019年)

株式会社百戦錬磨
「農泊」と「世界」を
つなぐ
地域活性化サービス



第6回 (2020年)

奄美イノベーション株式会社
集落文化 ×
「伝泊+まーぐん広場」
が創る「日常の観光化」
を国内外へ展開

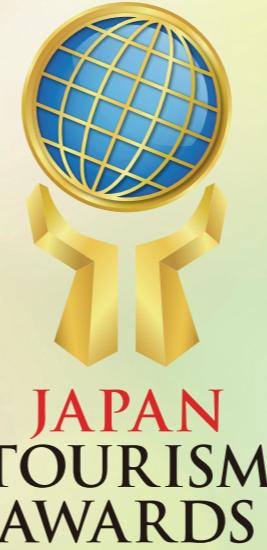


問い合わせ先(担当窓口)

ジャパン・ツーリズム・アワード 募集事務局

TEL: 03-5246-7221 E-Mail: info@jta.event-infodesk.com

受付時間／平日 10:00～18:00



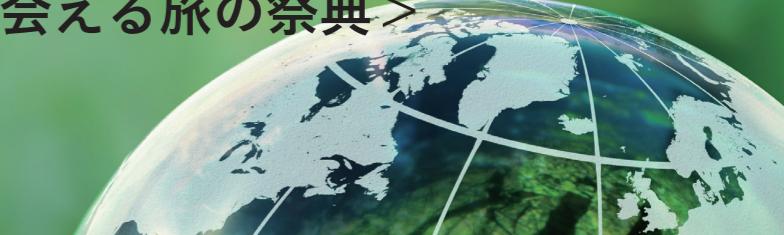
2023年度 第7回「ジャパン・ツーリズム・アワード」

募集要項

募集期間：4月3日～6月30日

ツーリズム EXPO ジャパン

<未来に会える旅の祭典>



「ツーリズムEXPOジャパン2023大阪・関西」開催概要
〈開催日〉2023年10月26日(木)～29日(日)
〈会場〉INTEX OSAKA(インテックス大阪)
〈主 催〉公益社団法人日本観光振興協会(JTTA)
一般社団法人日本旅行業協会(JATA)
日本政府観光局(JNTO)

In collaboration with



SUSTAINABLE
DEVELOPMENT
GOALS

第6回「ジャパン・ツーリズム・アワード」国土交通大臣賞 奄美イノベーション株式会社

国土交通大臣賞・UNWTO倫理賞の2つの賞をいただき大変感謝しております。2016年に伝泊をスタートさせ、2020年に30棟・44室を民間の資金調達により短期間で広がったのも、地域住民や地域銀行の協力の賜物です。奄美は、世界自然遺産の候補地ですが、それ以上に何百年も小さな集落単位でそれぞれの文化・伝統を持っていることが特徴的な地域です。観光客が集落の日常を住民と共に体験することが、これからの観光の中心になればと思っています。建築家として、別の地域の集落にも光を当て、住民の方々と共に緩やかな活性化に協力できればと思っています。

山下保博／建築家・奄美イノベーション株式会社代表





2023年度 第7回「ジャパン・ツーリズム・アワード」募集要項

趣旨

世界で起こっているさまざまなパラダイムシフトに対応すべく、ツーリズムもニューノーマルに向けた変化が強く求められています。どのような困難や制約の中にあっても、旅行者・生活者の Well-being(※)を実現する。雇用機会の創出などを通じて地域の経済社会の活性化を果たしていくことはもとより、国境や地域を越えた相互理解の深化を実現し、日本のみならず世界の成長、ひいては平和の実現をけん引する。こうした「旅のチカラ」の再生と持続可能性を確保していくために、ツーリズムは進化し続けなければなりません。

そしてその実現に向けて、地域社会への貢献、安心・安全の確保、生産性の向上、環境への配慮など、ツーリズムが取組むべき課題は多岐にわたります。

ジャパン・ツーリズム・アワードは、「旅のチカラ」の再生と持続可能性の確保につながる組織・企業・団体の取組を参考となる事例として表彰し、ツーリズム EXPO ジャパンとの連携により、優れた受賞取組をモデルケースとして広く世の中に知らしめ、さらなるツーリズムの発展に貢献していくことを目的とします。

(※) Well-beingとは「肉体的にも精神そして社会的にもすべてが満たされた状態」にあることを指しています（世界保健機関(WHO)の定義より）

各賞(予定)

国土交通大臣賞 1本 表彰状と副賞が授与されます	観光庁長官賞 3本 表彰状と副賞が授与されます
実行委員長賞 1本 表彰状が授与されます	持続可能な観光賞 (UNWTO) 2本 表彰状が授与されます
審査委員特別賞 10～15本 表彰状が授与されます	学生が選ぶ ジャパン・ツーリズム・アワード 1本 表彰状が授与されます 観光を学ぶ学生代表審査委員約20名が独自の目線で優れた取組を表彰します
入賞 15～20本程度 表彰状が授与されます	

審査について

応募資料とともに観光を始めとする各界の有識者で構成する審査委員会（審査委員長：本保芳明国連世界観光機関（UNWTO）駐日事務所代表）にて各賞を決定し、表彰します。

審査のポイント

- 革新性
 - 取組自体がイノベーションを促進し、新しいビジネスモデルとして新たな市場を開拓しているか
 - 観光 DX の推進による旅行者の利便性向上や観光産業の生産性向上等へ貢献しているか
 - 地域・産業等の持続可能性の向上に新たな地平や展開をもたらすものであるか
- 事業性
 - 観光地・観光産業の高付加価値化等の取組による「稼ぐ地域」の実現や観光産業の収益力向上等へ貢献しているか
 - 収益・財源確保が見込まれ、利用者の満足度が高い等、市場に受け入れられている取組であるか
 - 持続可能な観光の推進に向けた取組の継続性や実効性を高めるものであるか

※取扱人数、来訪者数、取扱件数、実施回数、観光消費額、経済効果等の具体的な目標を明記すること
- 持続可能な観光への貢献
 - パンデミック収束後も安定的に取組を実施していくことが可能であるか
 - 環境への配慮、歴史・文化遺産等の地域資源の活用・保全、人材育成、ユニバーサルデザイン、ダイバーシティ、リスクマネジメントなど持続可能な社会の実現に貢献しているか
- 地域活性化への貢献
 - 多様なステークホルダーと連携し、地域社会の発展に貢献した取組であるか

スケジュール

応募締切 2023年6月30日(金)23:59 厳守

2023年7月
第一次審査

2023年8月中旬
第一次審査結果発表

2023年9月上旬
最終選考会

*応募データ登録時刻による
*締切間際の応募は、通信状態により締切に間に合わない場合がありますのでご注意ください

2023年9月下旬
最終選考結果発表

2023年10月26日
表彰式（インテックス大阪）

応募方法

ツーリズム EXPO ジャパン 2023 の公式ホームページにある応募フォームに従って取組概要を入力の上、応募ください。

A4 用紙 3～5枚程度にまとめた取組概要を補足する資料を添付して頂くことを強く推奨いたします。

(連続応募の場合、前回応募からの進展部分を記載してください。)

画像等の添付も応募フォームよりアップロードできます。（必ずキャプションをつけて頂き何の画像か分かる様にしてください）

ツーリズム EXPO ジャパン 2023 公式ホームページ

<https://www.t-expo.jp/biz/program/award>

右のQRコードでも
アクセス可能です。



*応募段階で事業開始している取組を応募条件とします

*応募資料に添付する写真・画像等の著作物については、当該取組が受賞した際に主催者が作成する受賞取組一覧等の制作物への掲載を許諾するものとします

*入力の途中でも応募内容の保存および変更ができます

応募について

ジャパン・ツーリズム・アワードは次の領域で募集を行います。

領域について



日本国内旅行および
訪日外国人旅行の拡大・
活性化への取組



日本国外における
旅行需要の
拡大・活性化への取組
(日本からのアウトバウンドも含みます。)

応募対象

国、政府、観光局、大使館、自治体、観光協会、DMO、NPO 法人、旅行会社、運輸・交通機関、宿泊、流通、食品、ICT、農林水産業・加工業、伝統工芸、みやげ品制作、販売業、TV 局、新聞社、出版社、フィルム・コミッション、スポーツ・コミッションなどでツーリズムの拡大に資する事業展開をしている組織、企業、団体、個人

応募対象となる取組

- 持続可能な観光地域づくりへの取組
- 国際相互交流促進への取組
- 国内交流拡大への取組
- アウトバウンド拡大への取組

受賞者の声

- 受賞により組織内での評価が高まることで、従業員のモチベーションが向上し、業務の質に変化があった。（自治体、地域協議会）
- 地元の TV 局・新聞から取材申込を受け、TV 放映・新聞に掲載された。（自治体、地域協議会）
- 次回のジャパン・ツーリズム・アワードでの連続受賞を目標に新たなアイディアを出そうとする機運が高まった。（自治体、地域協議会）
- 受賞を機にツアーバスに受賞ペナントを掛け参加者に商品の優位性をアピール出来た。また、次回の企画商品のパンフレット作成に際しアワードロゴを掲出することで商品の優位性を出す事が出来る。（観光案内業者、旅行会社）
- 他地域から講演やパネラーの依頼を受けた。（自治体、観光案内業者）
- 自治体の広報誌に取り上げられた。（地域協議会、DMO）
- 受賞フラッグを事務所等へ掲出、アワードロゴをパンフレット等に掲載したことでお客様から声をかけられる機会が増えブランディング効果があった。（宿泊施設、旅行会社）

補足事項

- 法人格の有無は問いません
- 複数の団体・企業の共同の取組も対象にします
- 連続応募も可能です（前回の応募からの取組内容の進展の明示が必要です）
- 同一団体・組織でも取組内容が明らかに異なる場合は複数案件の応募も可能です
- 応募段階で事業開始している取組を対象とします
- 暴力団、暴力団員、暴力団関係企業・団体、その関係者またはその他の反社会的勢力に該当しないことを前提とします